

環境経営レポート

活動期間：2022年10月～2023年9月

（第57期）



興亜工業株式会社

URL: <http://www.kouakogyo.com>

発行日：2024年4月17日

目 次

組織の概要	1
環境経営方針、組織図・役割・権限	2
許可の内容	3
施設等の状況	4
処理実績、二酸化炭素総排出量	5
環境経営目標、経営計画及び評価	6
主な事業内容	7～8
地域コミュニケーション等	9
関連法一覧と遵守評価	10
代表者による全体評価と見直し・指示	11

■組織の概要

(1) 名称及び代表者名

興亜工業株式会社
代表取締役 中澤 和夫

(2) 所在地

本 社・工 場 京都府京都市右京区西院月双町99番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	中澤 和夫
担当者	中澤 里英子
連絡先	TEL:075-311-3916 FAX:075-311-7899

(4) 事業内容

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物(廃油)の収集運搬・中間処理業、再生重油の製造販売、
地下タンク等の漏洩検査・循環清掃

(5) 事業の規模等

◎設立年月日	1966年11月26日
◎資本金	1,000万円
◎売上高	8,544万円（第57期:2022年年10月1日～2023年9月30日）
◎従業員数	6名（2023年10月1日現在）
◎延べ床面積	190㎡

(6) 事業年度

10月 ～ 9月

(7) 対象範囲

◎本社・工場

(8) 対象事業活動

◎事業内容と同じで全事業活動

■環境経営方針

<企業理念>

私達は、廃油の再資源化、地下タンクや埋設配管の漏洩検査の業務を通じて、何よりもこの地球を取り巻く環境を守ることが最重要課題であると認識し、企業活動のすべての面において環境優先の考えを示して行動します。

<実施指針>

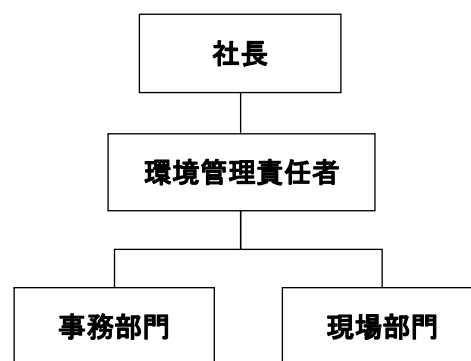
- ・ 環境経営の継続的改善を誓約します。
- ・ 適用される環境関連法規等の遵守を誓約します。
- ・ 省エネルギー、廃棄物の削減、節水に取組、資源の無駄遣いをなくします。

環境経営方針は全従業員に周知し、公表します。

制定日 2017年6月1日
改訂日 2021年10月1日

興亜工業 株式会社
代表取締役 中澤 和夫

■組織図・役割・責任・権限



役割・責任・権限	
代表者	・経営資源（ひと、もの、金）の準備 ・環境経営方針の策定、見直し、指示 ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境経営計画の作成、取組結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成
全従業員	・環境経営計画の実施 ・各種手順書の順守 ・地域貢献活動（地域清掃等）への自主的、積極的参加

■許可の内容

◎許可一覧

種 類	発行者	許可番号	許可の年月日 ／有効年月日	産業廃棄物の種類												
				汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック	紙 くず	木 くず	繊維 くず	ゴム くず	金属 くず	ガラス くず	コンクリート くず	が れ き 類
産業廃棄物処分業	京都市	第06521019831号	2021年10月12日 2026年10月05日		●											
特別管理産業廃棄物処分業	京都市	第06571019831号	2021年10月12日 2026年10月05日		●											
産業廃棄物収集運搬業	京都府	第02601019831号	2021年08月18日 2026年08月10日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700019831号	2022年07月21日 2027年07月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	兵庫県	第02803019831号	2023年12月28日 2028年12月27日		●											
産業廃棄物収集運搬業	奈良県	第02900019831号	2021年08月10日 2026年08月09日		●											
産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	第02501019831号	2019年09月19日 2026年09月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第02300019831号	2019年06月11日 2024年06月10日		●		●									
産業廃棄物収集運搬業	三重県	第02400019831号	2019年06月13日 2024年06月12日		●		●									
特別管理産業廃棄物収集運搬業	京都府	第02651019831号	2021年08月18日 2026年08月10日		●											
特別管理産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02750019831号	2022年07月21日 2027年07月20日		●											
特別管理産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	第02551019831号	2019年08月05日 2026年08月04日		●											

◎事業の概要

興亜工業は、京都市内を中心に近畿一円、中部地方を活動範囲としています。事業を推進するにあたっては、地球を取り巻く環境を守ることが何より大切であると認識し、全ての業務において「環境最優先の考え」を示し、行動してまいります。

◎事業の範囲

○産業廃棄物収集運搬業

1)汚泥 2)廃油 3)廃酸 4)廃アルカリ 5)廃プラスチック類 6)紙くず 7)木くず 8)繊維くず 9)ゴムくず
10)金属くず 11)ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 12)がれき類

○特別管理産業廃棄物収集運搬業

引火性廃油

○産業廃棄物処分業

廃油（油水分離）

○特別管理産業廃棄物処分業

引火性廃油（分級濾過）

■施設等の状況

◎車両

車 種	台 数	備 考
タンクローリー	3 台	
キャブオーバー	4 台	
バン	2 台	
合 計	9 台	

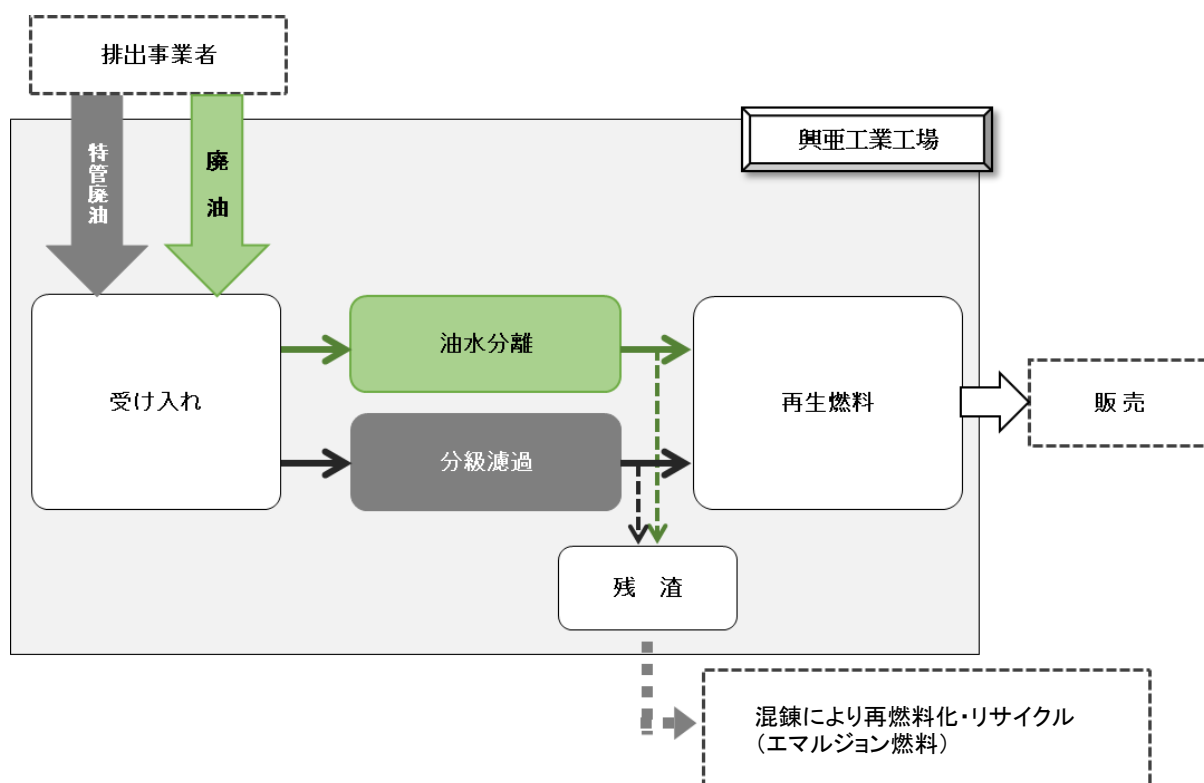
◎主要設備

名 称	台 数	備 考
振動振るい機	1 基	
マイクロセパレーター	1 基	

◎処理能力及び処理方式

区 分	種 類	処理能力	処理方式
産業廃棄物	廃油	9,000ℓ／日	油水分離
特別管理産業廃棄物	廃油	0.1m ³ ／日	分級濾過

◎処理工程図



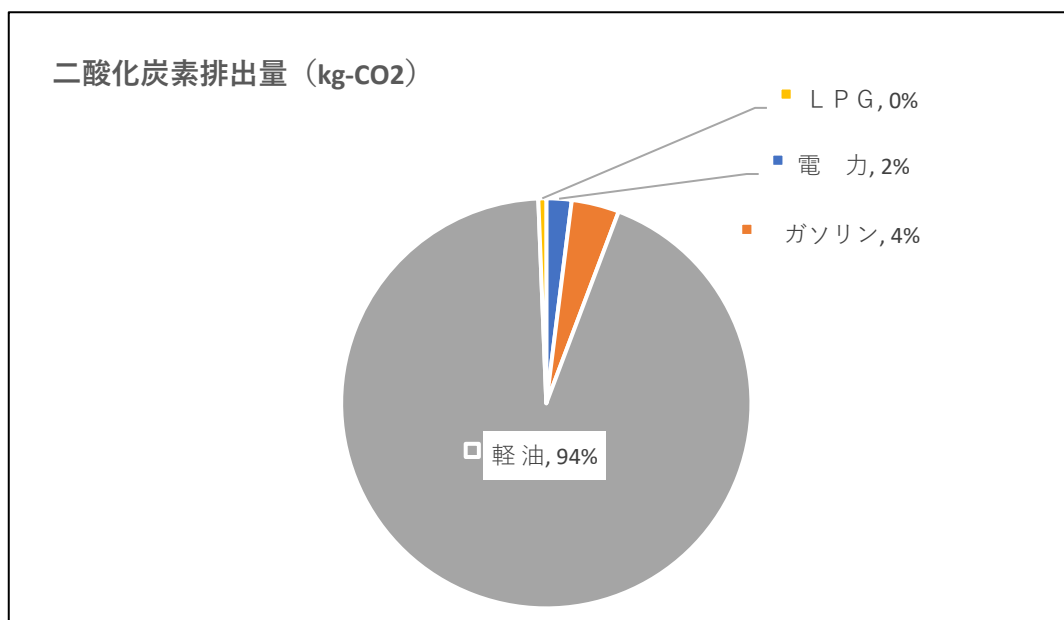
■処理実績(2022年10月～2023年9月)

	量 (kℓ)	用途等
収集運搬量	951.10	直送含油排水77.1Kℓ
中間処理量	874.00	—
中間処理後再資源化量	873.40	再生油として販売
中間処理後自社利用量	0.60	自社ボイラー燃料
最終処分量	—	—

■二酸化炭素総排出量(2022年10月～2023年9月)

電力のCO2排出係数：関西電力 令和4年度調整後排出係数：0.309kg-CO2/kWh

	エネルギー	排出量 (kg-CO2)	割合
購買電力	電力	760	2.0%
化石燃料	ガソリン	1,435	3.8%
	軽油	35,778	93.6%
	L P G	239	0.6%
二酸化炭素総排出量合計	合計	38,212	100.0%



■環境経営目標・環境経営計画・取り組み状況の把握及び評価

2023年12月7日

項目				目標・計画						2022年		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	目標達成状況 次年度の取組														
二酸化炭素 電力量 (事務所)	目標	57期		56期実績の0.5%減		責任者： 事務部門長	電力量(kwh)	56期実績	332	279	288	245	233	252	294	276	254	308	323	292	3,376	給湯器をガスから電気に交換したが、事務所を断熱リフォームしたこともあり、目標を大きく達成した。 今後も事務効率化を意識し、積極的に改善提案をする。																	
		58～60期		前年実績の0.5%減				目標値	330	278	287	244	232	251	293	275	253	306	321	291	3,359																		
	経営計画	【省エネルギー】 ①照明設備の管理 ・適宜消灯、不要照明間引き、清掃等維持管理 ②空調設備の管理 ・温度管理 冷房:27℃ 暖房:22℃ ・時間管理 平日:8:00～17:30,土曜:8:30～17:00						CO2排出量(kg-CO2)	57期実績	301	289	261	213	186	174	172	232	151	144	171	164		2,458																
							目標値		102.1	85.8	88.5	75.3	71.6	77.5	90.4	84.9	78.1	94.7	99.3	89.8	1,038																		
							実績		93.0	89.3	80.6	65.8	57.5	53.8	53.1	71.7	46.7	44.5	52.8	50.7	760																		
	CO2排出係数		電力(kg-CO2/kWh)		判定欄		91%		104%		91%		87%		80%		69%		59%		84%		60%		47%		53%		56%		73%								
		R4年度関西電力		0.309		○		△		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○											
廃棄物 (一般廃棄物)	目標	57期		56期実績の0.5%減		責任者： 事務部門長	一般廃棄物(ℓ)	56期実績	54.0	72.0	80.5	31.5	49.5	40.5	45.0	45.0	62.5	108.0	55.5	22.5	667	リフォームに合わせて書庫整理をした中でも、目標を達成した。 引き続き再資源化を意識し、分別を徹底する。																	
		58～60期		前年実績の0.5%減				目標値	53.7	71.6	80.1	31.3	49.3	40.3	44.8	44.8	62.2	107.5	55.2	22.4	663																		
	経営計画	【自社排出廃棄物の削減】 ①分別の徹底 ・缶・瓶・PET・資源物・その他可燃物 ②京都市の分別表に準拠する						57期実績	45.0	67.0	71.5	30.0	45.0	90.0	90.0	40.0	45.0	45.0	45.0	22.5	636																		
							目標比率		84%		94%		89%		96%		91%		223%		201%		89%		72%		42%		81%		101%		96%						
						判定欄		○		○		○		△		○		×		×		○		○		○		△		○									
水使用量	目標	57期		前年度実績以下		責任者： 事務部門長	水量(m ³)	56期実績	61		66			52		51		54		52		336	人員の増減が主要因ではあるが、節水意識が定着している。 引き続き節水を徹底する。																
		58～60期						57期実績	42		40		44		43		46		46		261																		
	経営計画	【水使用量の削減】 ①節水対策 ・コックの維持管理、点検 ・蛇口へのポップシールの添付 ②漏水点検						目標比率		69%		61%		85%		84%		85%		88%		78%																	
							判定欄		○		○		○		○		○		○		○																		
二酸化炭素 自動車燃料 (軽油)	目標	57期		56期実績の1%増		責任者： 現場部門長	燃費(km/ℓ)	56期実績	7.72	7.86	6.14	6.80	10.22	9.31	15.04	13.98	18.37	8.98	7.05	7.87	8.59	回収依頼を受けた際に、その周辺顧客にも声掛けすることが定着し、人員不足の中でも効率よくこなし、目標を達成した。																	
		58～60期		前年実績の1%増				目標値	7.80	7.94	6.20	6.87	10.32	9.40	15.19	14.12	18.55	9.07	7.12	7.95	8.68																		
	経営計画	【自動車燃料の削減】 ①エコドライブの実施 ②日常点検の実施 ③集荷・配達ルートの検討 ※ガソリン使用量は軽油の1/10で、数値目標は設定していない(5P参照)						57期実績	8.88	8.72	8.87	9.13	9.37	9.13	9.08	9.37	9.24	9.00	8.27	8.60	8.97																		
							(km)	走行距離	12,148	12,651	13,790	8,776	10,273	13,102	8,072	10,847	10,697	9,080	10,036	4,939	124,411																		
							(ℓ)	使用量	1,367.35	1,450.81	1,554.40	961.24	1,096.64	1,434.80	888.83	1,157.85	1,157.68	1,009.30	1,214.12	574.38	13,867.40																		
			CO2		排出係数 2.58		判定欄		○		○		○		○		×		×		×		×		○		○		○										
全社二酸化炭素合計(kg-CO2)								二酸化炭素量		kg-CO2		3,527.76		3,743.09		4,010.35		2,480.00		2,829.33		3,701.78		2,293.18		2,987.25		2,986.81		2,603.99		3,132.43		1,481.90		35,777.89		-	
								電力+軽油		3,620.77		3,832.39		4,091.00		2,545.82		2,886.81		3,755.55		2,346.33		3,058.94		3,033.47		2,648.49		3,185.27		1,532.58		36,537.41		-			
受託した産業 廃棄物収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	目標・計画	57期		20件		責任者： 現場部門長	新規顧客(件)	目標値	20												20	ガソリンスタンドや自動車整備工場の廃業が多い中、新規顧客・受託量ともにかろうじて目標を達成した。 既存顧客とのコミュニケーションを大切にし、情報や紹介をいただき収集運搬・処分量を増加する。																	
		58～60期		目標の達成し、受託量増				57期実績	3	3	2	1	0	2	1	2	1	2	1	2	20																		
	【顧客獲得】・訪問、電話営業、既存客への紹介依頼				判定欄			○												○																			
	目標・計画	57期		再資源化100%維持			受託産業処理量(kℓ)	56期 廃油	90.67	67.30	63.60	65.98	66.23	81.92	54.23	68.98	75.22	68.14	66.07	68.30	836.64																		
		58～60期		再資源化100%維持				56期 特管	0.20	1.04	0.38	1.72	0.31	1.31	2.49	0.58	2.14	1.57	0.24	1.73	13.71																		
					56期 合計			90.87	68.34	63.98	67.70	66.54	83.23	56.72	69.56	77.36	69.71	66.31	70.03	850.35																			
					57期 廃油			56.40	83.58	81.21	65.65	64.99	99.32	65.02	69.58	79.85	58.39	61.46	74.13	859.58																			
					57期 特管			3.24	1.51	1.65	0.51	0.70	1.37	0.55	0.29	2.40	0.52	0.21	1.47	14.42																			
					57期 合計			59.64	85.09	82.86	66.16	65.69	100.69	65.57	69.87	82.25	58.91	61.67	75.60	874.00																			
							判定欄		×		○		○		×		×		○		○		○		×		×		○		○								
総合評価	新型コロナウイルス感染及び熱中症予防対策を最優先に活動している中、節電・節水を心がけ目標を達成することができた。人員不足による業務負担が大きくなっているが、今後も感染や熱中症の予防を重視しながら、全員で協力・工夫し事務効率UP、作業効率UPを図り、さらなる改善に向けて取り組んでください。																判定欄		<判定欄> 目標比率：100%以下「○」、100%超 115%未満「△」、115%超「×」 目標達成：達成「○」、未達成「×」																				
																	環境方針		変更の必要なし。																				

■主な事業内容

◆産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の収集運搬



興亜工業は、京都市で唯一「産業廃棄物（廃油）」及び「特別管理産業廃棄物（引火性廃油）」のリサイクルとして収集運搬・処分の許可を有する企業です。

主に、ガソリンスタンドやカーディーラー、工場、公共事業体などよりご依頼を受け、排出された廃油を自社タンクローリーにて回収・運搬いたします。また、ドラム缶・ペール缶単位での回収・運搬もお受けしております。

回収のお伺いは、定期回収便の他、電話連絡による都度回収、即日回収も承っております。

◆産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の中間処理

◆再生重油の製造販売



排出事業者様より回収した廃油は、自社工場にて、成分分析⇒加熱処理⇒遠心分離⇒濾過の工程を経て再生重油にリサイクルしています。

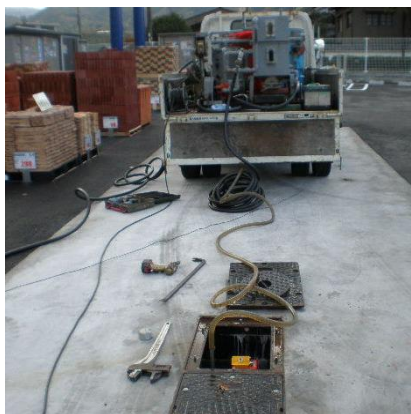
再生重油は、主にセメント業界、石灰業界、アルミ二次合金メーカーに、補助燃料として販売しております。

◆地下タンク/埋設配管の漏洩検査



地下タンク及び埋設配管の漏洩検査を請け負う業者は沢山ありますが、興亜工業は、漏洩の発見、漏洩箇所の特定制を安全・確実に行うのに不可欠である豊富な経験と高度な技術を有しており、お客様より高い評価と信頼を得ております。

◆地下タンクの循環清掃



興亜工業は、（特別）産業廃棄物収集運搬／中間処理の両業務の許可を取得しておりますので、地下タンクの循環清掃はもとより、循環清掃により発生する廃棄物を自社で処理している数少ない企業です。

地下タンクの清掃から清掃後の廃棄物の処理まで、興亜工業にお任せください。

また、マニフェスト伝票の発行・処理も行っておりますので、併せてお申し付けください。

◆廃止ガソリンスタンド等の残油移送作業



興亜工業は、第一/第二石油類である危険物の移送に「ダイヤフラムポンプ」を使うことで、安全かつ的確に作業を行い、経験と実績を培ってまいりました。

『創業以来、無事故』であることを誇りにしております。

◆分離槽の清掃

◆各種タンク内の洗浄工事

●契約締結時の注意事項について

<2023年5月>

興亜工業の許可内容を再確認し、契約書の記載内容やマニフェストの記載事項について、過去の新聞記事や行政処分例を参考に勉強会を開きました。

●模擬訓練



<2023年12月>

油漏れ発生時の手順書、緊急・火災発生時の対応手順書を確認しながら、模擬訓練を行いました。

●地域コミュニケーション



<2023年12月>

会社周辺の清掃活動を行いました。

●環境関連法規等の遵守状況の確認、違反、訴訟等の有無

2023年12月7日

法令名称	要求事項	対象施設・項目	順守確認
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物の処理	産業廃棄物処理業	○
水質汚濁防止法	特定施設の届出	油水分離	○
消防法	危険物の貯蔵	危険物庫	○
フロン排出抑制法	簡易点検・記録	エアコン室外機(家庭用)	○

※違反、訴訟などはありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘はありません。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2023年12月7日

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取り組み状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の順守状況 2023年12月7日に評価を実施した結果遵守されている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 新規顧客数は増加したものの、受託産廃処理量は目標達成できなかった。 廃油の処分業者選定の際には、一番にお声がけいただけるよう、日ごろから 廃油をリサイクルしている京都市内で唯一の企業であることをアピールする。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 特になし <改善への提案> 手順書の再確認と教育・訓練を計画どおり実施する。				【環境方針】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 環境方針は変更せず当面この内容ですすめる。 来客者へのPRのために、応接室に環境方針を掲示する。	
【目標・環境活動計画の達成状況】 (詳細は環境活動計画書様式6-02による)				【目標・活動計画】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 目標値達成のため、手順を再確認し目標達成に向けて取り組むこと。 顧客数を増やし受託産廃処理量、地下タンク漏洩検査、循環清掃の件数を増加させること。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)		
電力の削減	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	目標を達成した。		
燃料の削減	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	燃費目標を達成した。		
廃棄物の削減	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	目標を達成した。		
節水	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	目標を達成した。		
二酸化炭素合計	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	電力、燃料共に目標を達成した。		
取組評価：◎：十分実施 ○：ほぼ実施 △：不十分 ×：取り組めていない <改善への提案> 上記記載の通り。					
【周囲の変化の状況】 ①特になし ②環境関連法規制等の動向他 現行法令には全て遵守している。 <改善への提案> 特になし				【その他】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
代表者が自ら得た情報				【総括】 事務所の断熱リフォームやトイレを交換・増設したことで職場環境が整い、また省エネ効果も実感できた。今後も感染症や熱中症の予防を重視しながら、全員で協力・工夫し事務効率UP、作業効率UPを図り、さらなる改善に向けて取り組んでください。	
①特になし					